# 鹿児島大学病院　療養就業制限期間判断ツール

本ツールは鹿児島大学病院での対策を基に作成しており、他施設では各施設責任の下活用ください。

本ツールの無断転載・無断リンクを禁止します。

Copyright　© 2023 Department of Infection Control and Prevention, Kagoshima University Hospital

鹿児島大学病院　感染制御部（2023 年 10 月作成）

# 鹿児島大学病院での療養・就業制限期間のサマリー

| | |
|---|---|
| 感染入院患者の療養期間 | 【発症者】発症日から 10 日(人工呼吸器導入時は 15 日)かつ症状軽快 72 時間経過後<br>※ 免疫不全を有する中等症患者は 20 日間の隔離も考慮<br>【濃厚接触者】最終接触日から５日目 PCR 陰性で個室管理解除（7 日間健康観察） |
| 職員の出勤制限 | 【発症者】無症状・軽微な症状　５日、有症状　７日　（症状持続時は最大 10 日）<br>【濃厚接触者】(単回曝露)５日間<br>（家庭内での対策困難）７日間　定期的な抗原定量検査陰性確認で勤務可 |

詳細は以下から確認ください

鹿児島大学病院　感染制御部（2023 年 10 月作成）

# 調べたい対象者は？

職員

入院患者

外来患者

# 対象者：職員

調べたいのは？

陽性者

濃厚接触者

TOP に戻る

# 対象者　職員　陽性例

陽性者の症状は？

無症状

軽微な症状（発熱なく・軽い咽頭痛のみなど）

症状あり（発熱あり）

TOP に戻る

対象者　職員　陽性例　無症状者または軽微な症状（発熱なく・軽い咽頭痛のみなど）

就業制限期間は

検体採取日・発症日から６日目以降就業可（５日間自宅待機）

＊検体採取日・発症日から 10 日間が経過するまでは，感染リスクが残存することから，マスクを着用し、食事等での他者との接触をさける。

TOP に戻る

# 対象者　職員　陽性例　症状あり（発熱あり）

就業制限期間は

＊解熱後 24 時間経過し咳症状が落ち着いている場合

発症日から８日目以降就業可（7 日間自宅待機）

＊検体採取日・発症日から 10 日間が経過するまでは，感染リスクが残存することから，マスクを着用し、食事等での他者との接触をさける。

＊症状が遷延した場合は発症日から 11 日目以降就業可（10 日間自宅待機）

TOP に戻る

# 対象者　職員　濃厚接触者

感染者との接触は？

曝露が単回である

家族が陽性でも家庭内で対策ができる

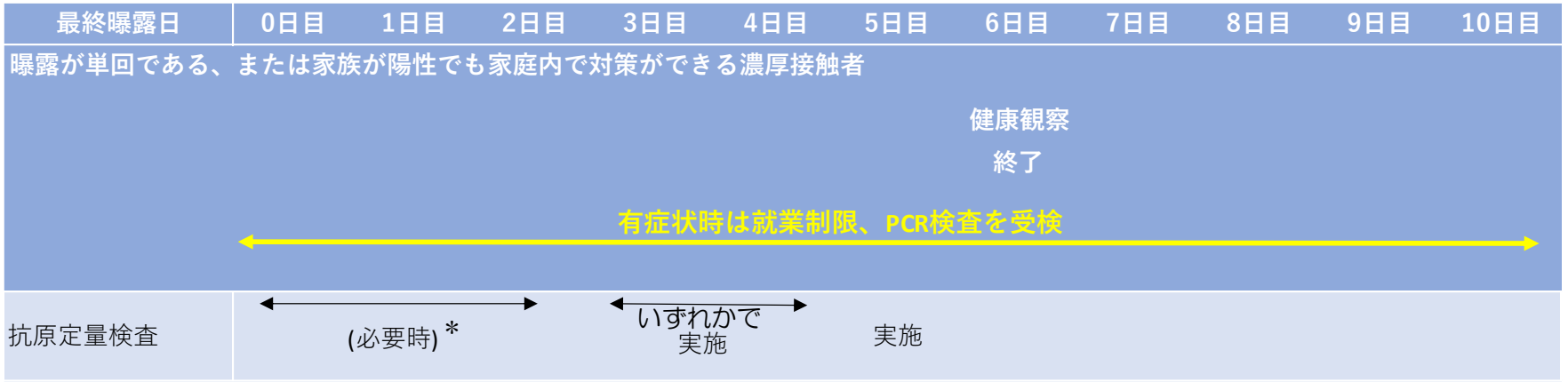
陽性同居家族が小児等により家庭内での対策実施が困難

TOP に戻る

# 対象者　職員　濃厚接触者　曝露が単回または家庭内で対策可

就業制限期間は感染者との最終曝露日（感染者が自宅待機の場合隔離解除日または家庭内での対策開始日を起点に）から ５日間（６日目に解除）

＊この期間就業する場合は定期的に抗原定量検査での陰性を確認




＊0−2 日目の抗原定量検査は、該当職員に過去１週間前から新型コロナウイルス感染症を疑う症状がない場合、および該当職員からの感染が否定される場合は不要

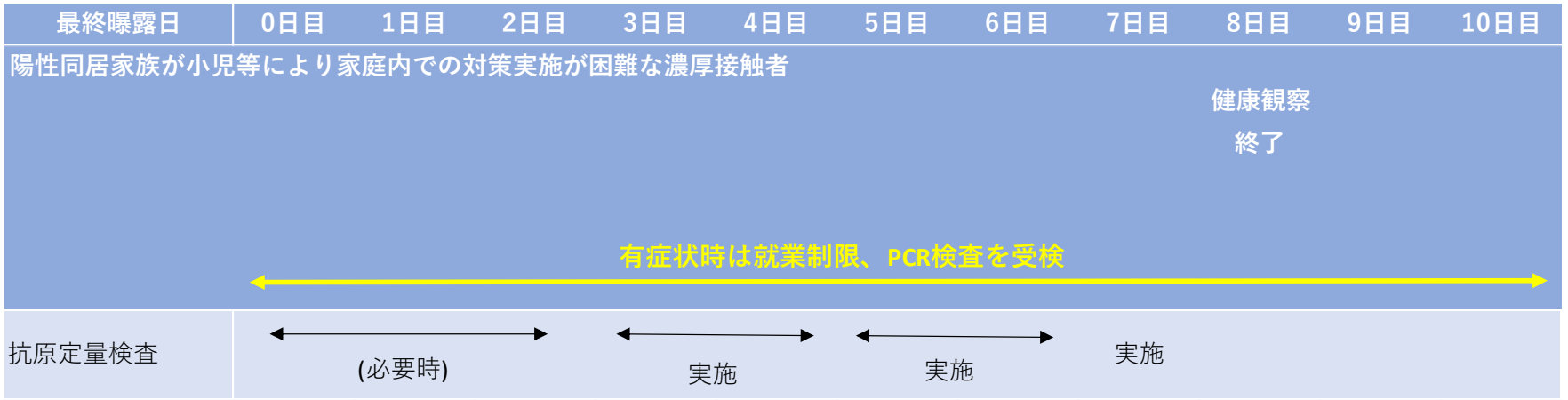
TOP に戻る

鹿児島大学病院　感染制御部（2023 年 10 月作成）

# 対象者　職員　濃厚接触者　陽性同居家族が小児等により家庭内での対策実施が困難

就業制限期間は感染者の陽性確認日から７日間は就業制限

＊この期間就業する場合は定期的に抗原定量検査での陰性を確認




＊0−2 日目の抗原定量検査は、該当職員に過去１週間前から新型コロナウイルス感染症を疑う症状がない場合、および該当職員からの感染が否定される場合は不要

TOP に戻る

鹿児島大学病院　感染制御部（2023 年 10 月作成）

# 対象者：入院患者

調べたいのは？

陽性者

濃厚接触者

TOP に戻る

# 対象者　入院患者　陽性例

陽性者の状態は？

人工呼吸器を使っている

人工呼吸器は使っていないが有症状である（免疫不全なし）

人工呼吸器は使っていないが免疫不全である

（コントロール不良の糖尿病・ステロイド療法中・免疫抑制剤使用など）

無症状である

TOP に戻る

# 対象者　入院患者　陽性例　人工呼吸器を使っている

隔離期間は

発症日から 15 日間経過し、かつ、症状軽快＊後 72 時間経過した場合

＊症状軽快：解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合

TOP に戻る

対象者　入院患者　陽性例　人工呼吸器は使っていないが有症状である（免疫不全なし）

隔離期間は

発症日から 10 日間経過し、かつ、症状軽快＊後 72 時間経過した場合

＊症状軽快：解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合

TOP に戻る

## 対象者　入院患者　陽性例　人工呼吸器は使っていないが免疫不全である

（コントロール不良の糖尿病・ステロイド療法中・免疫抑制剤使用など）

隔離期間は

中等症例で呼吸器症状が残存している場合では感染制御部との相談のうえ

**２０日間の隔離実施も考慮**

（通常は発症日から 10 日間経過し、かつ、症状軽快＊後 72 時間経過した場合）

＊症状軽快：解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合

TOP に戻る

鹿児島大学病院　感染制御部（2023 年 10 月作成）

# 対象者　入院患者　陽性例　無症状

隔離期間は検体採取日から８日目に解除

TOP に戻る

# 対象者　入院患者　濃厚接触例

陽性者との最終接触日から、７日間要観察

（5 日目以降の検査で陰性なら個室管理解除）

TOP に戻る

# 対象者：外来患者

調べたいのは？

陽性者

濃厚接触者

TOP に戻る

# 対象者　外来患者　陽性例

発症日（症状がない場合は検体採取日）を０日目として５日間が経過するまでは外出を控える

10 日間が経過するまでは他の方に感染させるリスクがあるため、接触する際はマスク着用

TOP に戻る

# 対象者　外来患者　濃厚接触例

院内での対応は不要

（入院例はこちらを確認）

TOP に戻る